

科学技術イノベーション政策に おける重要事項

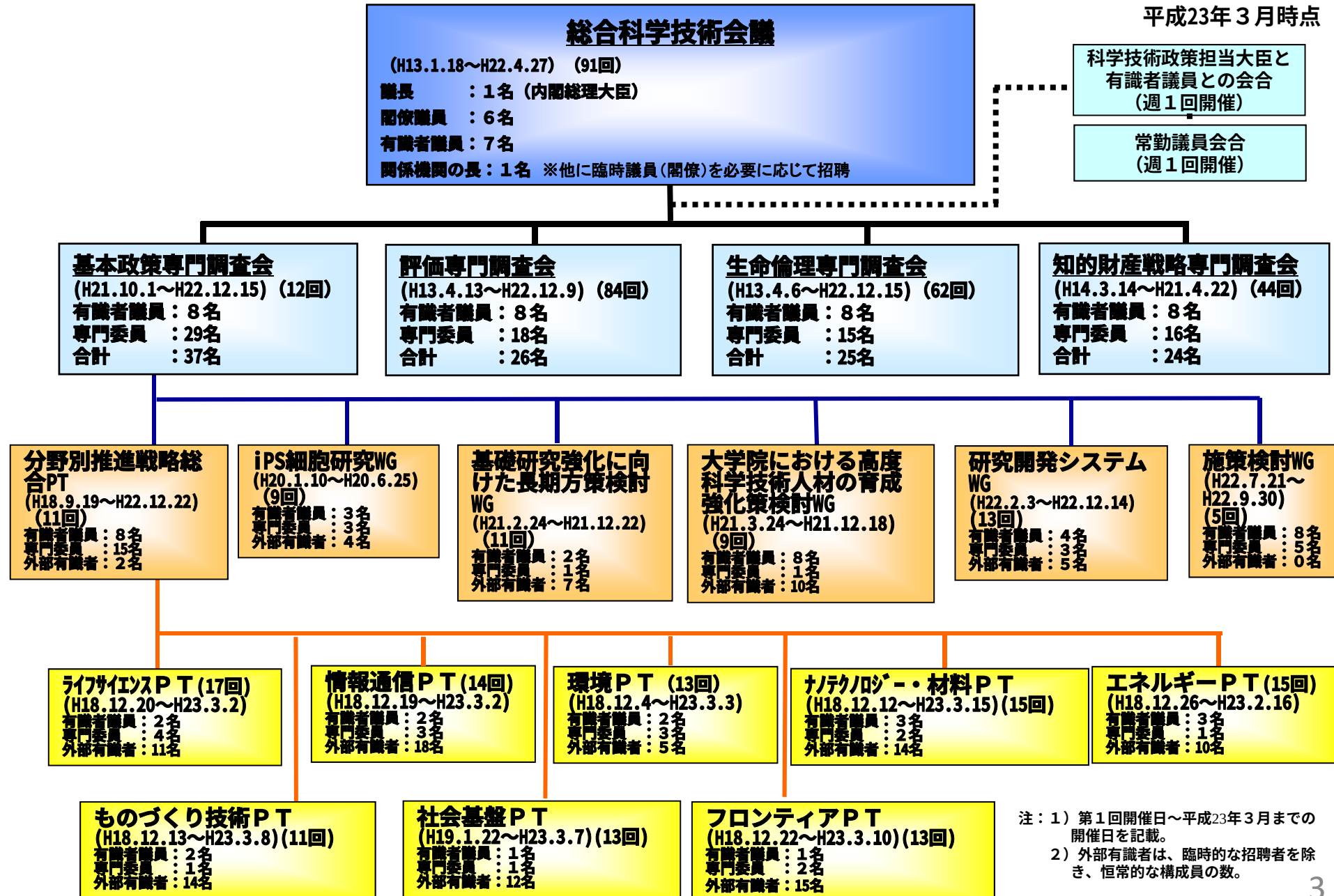
平成24年1月6日

科学技術イノベーション政策推進懇談会

1. 科学技術イノベーション政策 の推進体制

第3期基本計画の推進体制

平成23年3月時点



第4期基本計画の推進体制(1)

- ・総合科学技術会議には、現在3つの専門調査会を設置。
- ・科学技術イノベーション専門調査会が、基本計画推進の中心的な組織。
- ・評価専門調査会及び生命倫理専門調査会では、下記の特定の事項について調査審議を実施。

科学技術イノベーション政策推進専門調査会【H23.8.19新規設置】

第4期科学技術基本計画に掲げられた重要事項に関して、PDCAサイクルの実効性の確保、政策の推進について調査・検討を行うため設置。

<調査・検討事項>

- ・第4期基本計画の推進の上で専門的検討が必要とされる事項
- ・第4期基本計画に掲げた施策の効果的な推進と、実施状況についての把握と更なる推進策の検討

<果たすべき役割>

我が国の科学技術、イノベーション創出力の発展および質的向上をもたらし、結果として国際競争力向上に資するため、以下の事項について審議を行い、提言・提案をまとめる。

- ・重点的かつ優先的に取り組むべき骨太の課題、施策、政策
- ・科学技術イノベーション推進に向けたシステム改革を進めるための取組の方向性

評価専門調査会【継続】

<調査・検討事項>

- ・評価のためのルール作り
- ・重要研究開発の評価

<大規模研究開発の評価>

国費総額約300億円以上の大規模研究開発等を対象（平成24年度予算要求に関しては4件の事前評価を実施中）。

- ・日本海溝海底地震津波観測網の整備及び緊急津波速報（仮称）に係るシステム開発
- ・超低消費電力型光エレクトロニクス実装システム技術開発
- ・高効率ガスタービン技術実証事業費補助金
- ・石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業費補助金

<評価のためのルール作り>

国の研究開発評価のガイドラインである「国の研究開発評価に関する大綱的指針」（平成20年10月最終改定）を見直すべく、科学技術イノベーション政策の一体的な展開、PDCAサイクルの構築に対応する観点から、評価システムのあり方を検討中。

生命倫理専門調査会【継続】

<調査・検討事項>

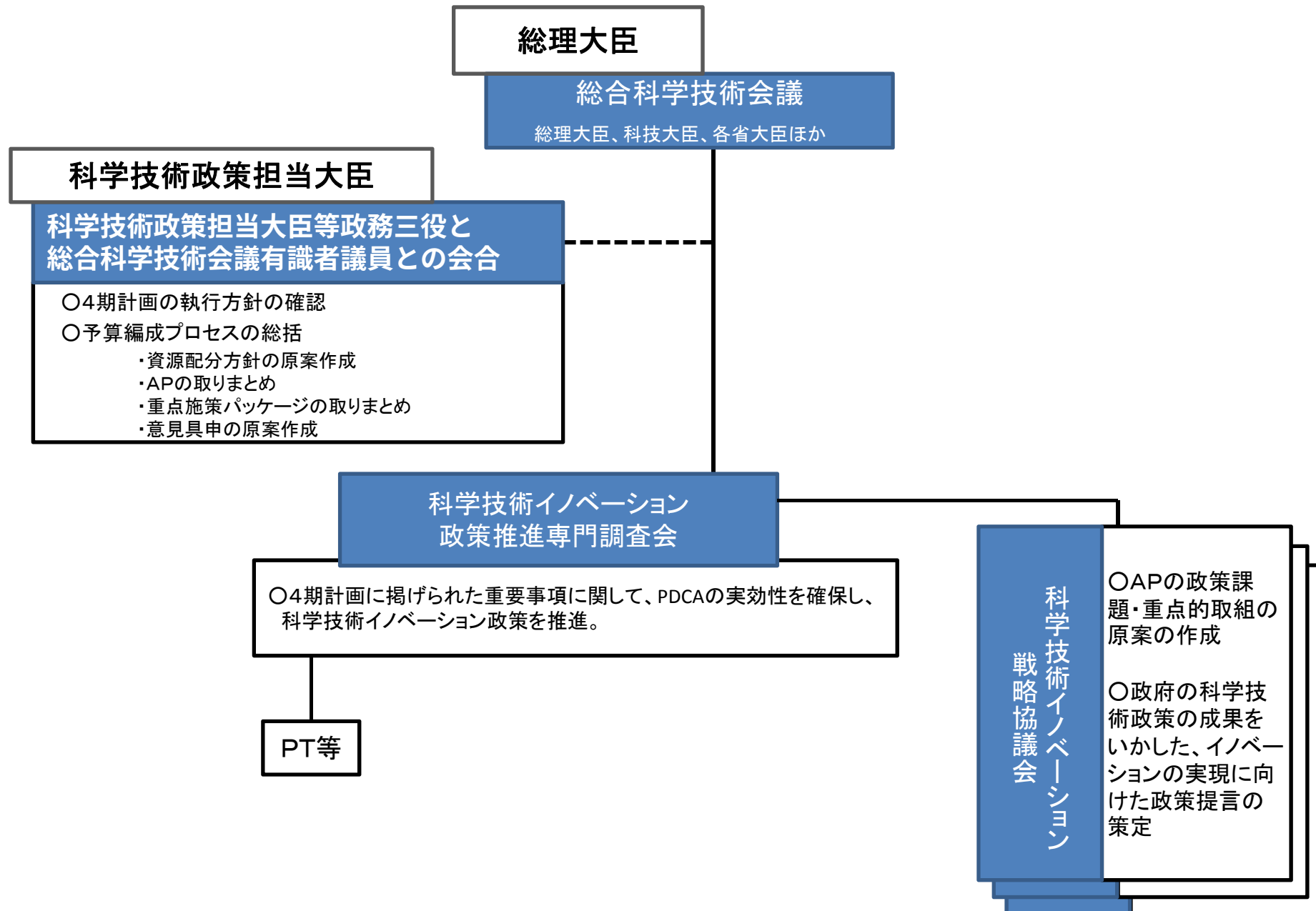
- ・ヒトES細胞の樹立及び使用に関する指針
- ・特定胚の取扱いに関する指針
- ・ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方

<現在の検討課題>

生命科学研究の進展に伴う新たな生命倫理上の課題について調査・検討中。

- ・ES細胞や、iPS細胞を用いたヒト受精胚作成の是非

第4期基本計画の推進体制(案)(2)



(別紙)

科学技術イノベーション政策推進専門調査会のミッション及び期待される成果((案))

科学技術イノベーション政策推進専門調査会のミッション及び審議結果の期待される成果は次のとおりである。

(1) ミッション

第4期科学技術基本計画(以下、基本計画)の基本方針および主要推進課題(下記参照)に基づき、我が国の科学技術、イノベーション創出力の発展および質的向上をもたらし、結果として国際競争力向上に資する、重点的かつ優先的に取り組むべき骨太の課題、施策、政策、並びに科学技術イノベーションの推進に向けたシステム改革を進めるための取組の方向性について審議を行い、提言・提案をまとめる。

(2) 期待される成果

本調査会の審議結果は、総合科学技術会議(以下、本会議)へ付議され、総理および科学技術政策担当大臣を含む関係閣僚を交えて議論されることとなり、本会議にて一定の結論が得られた場合には、政府の基本的な科学技術政策となり、関係府省の政策へ具体的に反映され実施される。

【基本計画の基本方針および主要推進課題】

3つの基本方針

- ・「科学技術イノベーション政策」の一体的展開
- ・「人材とそれを支える組織の役割」の一層の重視
- ・「社会とともに創り進める政策」の実現

4つの主要推進課題

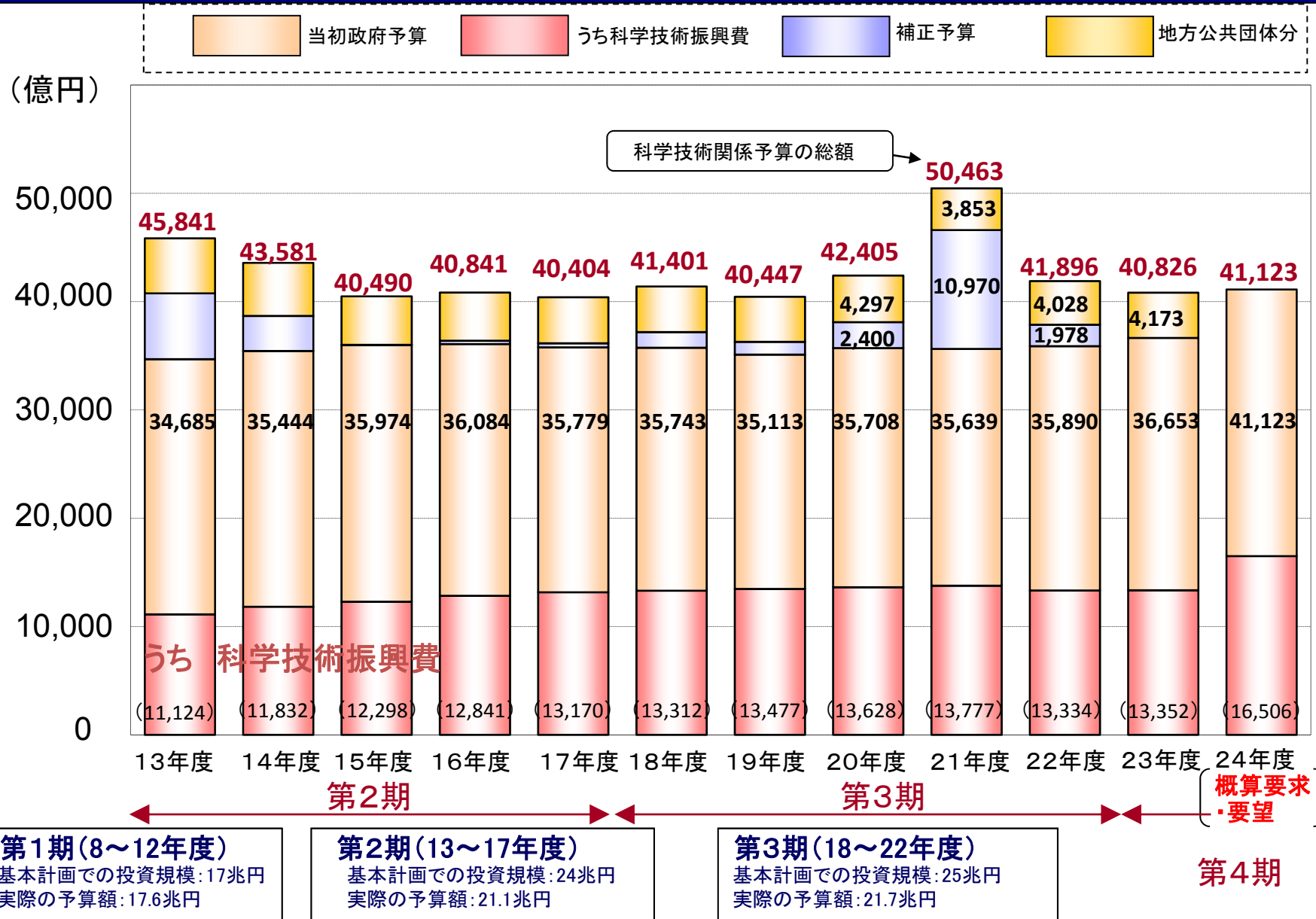
- ・将来にわたる持続的な成長と社会の発展の実現
- ・我が国が直面する重要課題への対応
- ・基礎研究および人材育成の強化
- ・社会とともに創り進める政策の展開

今後の検討事項(案)

- 科学技術イノベーション政策の推進体制
科学技術イノベーション戦略協議会のミッション、組織的位置付け(専門調査会との関係)等を検討する。【1月、2月において議論】
- 基本計画の重要課題達成に向けた取組
第2章及び第3章に掲げる各重要課題、第4章に掲げる「基礎研究および人材育成の強化」及び第5章に掲げる「社会とともに創り進める政策の展開」を推進するための骨太の課題等を検討する。
【1月から3月において議論。以降、随時議論】
- 国主導で研究開発を行うプロジェクト
国家安全保障・基幹技術を中心とする研究開発について、国主導で行うプロジェクト(例えば「国家安全保障・基幹技術プロジェクト(仮称)」)の在り方を検討する。
【2月、3月において議論】
- 基本計画全体の実施状況のフォローアップ及び評価
アクションプランの評価結果や各府省の取組など、基本計画全体の進捗を把握し課題に照らして評価を行い、その結果を政策等の見直しや新たな政策等の企画立案に活用する。【6月以降に議論】

2. 科学技術関係予算の編成に 向けた取組

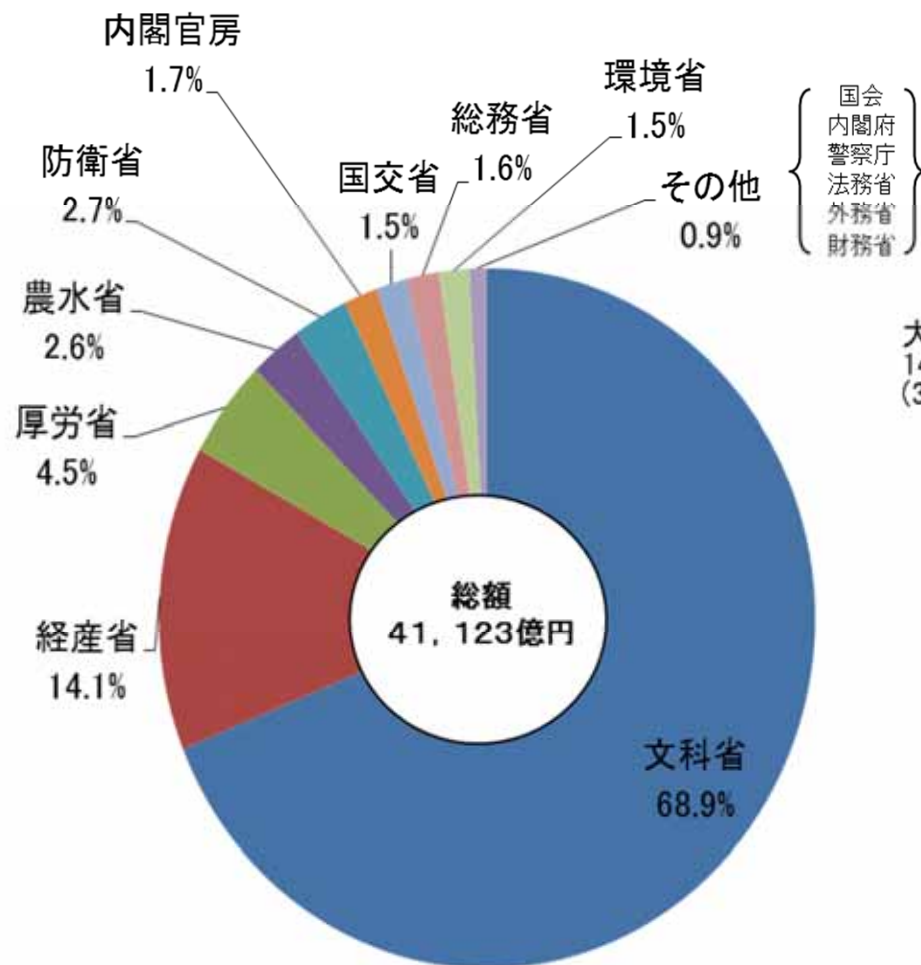
科学技術関係予算の推移



- 注) 1. 24年度概算要求・要望額については、社会資本整備事業特別会計(治水勘定、道路整備勘定、港湾勘定)等を除いてとりまとめたものである。
 2. 本頁の23年度予算額には、社会資本整備事業特別会計分等が含まれており、1頁及び2頁に記載された23年度予算額とは異なっている。
 3. 科学技術振興費に関しては、当初予算額で記載している。

平成24年度概算要求・要望における科学技術関係予算【速報値】 (府省庁別・機関別)

【府省庁別割合】



【機関別割合】

